

## 『生活行為申し送り表を導入したことによる当院 回復期リハビリテーション病棟、作業療法士の変化と課題』

○依田雅博 工藤美和 工藤弘之 進藤晃

### 【はじめに】

当院作業療法科では「その人らしさの実現」に向けた介入ができるよう、生活行為向上マネジメントの一部である「生活行為申し送り表」を経過報告書として導入した。導入後、報告書に「その人らしさ」が表現できているかを調査するため、アンケートを実施した。

### 【対象】

回復期リハ病棟担当の作業療法士

### 【結果】

生活行為への意識が向上した、どんな生活がしたいかなどのお話をするようになったという前向きな意見が聞かれた。一方で、その人らしさが表現できているか自信がないなど、その人らしさを捉えることの難しさを感じさせる意見もあった。

【考察】回復期リハ病棟においては、病前生活からの状態変化が大きく患者自身も自分らしさを表現することが難しい時期である。「その人らしさ」が表現できているか、自信がないのは「その人らしさ」が定義されていないためと考えた。院内で定義して標準化することで解決を考えている。

生活行為申し送り表を導入したことによる  
当院回復期リハビリテーション病棟、  
作業療法士の変化と課題

医療法人財団利定会 大久野病院  
○依田雅博 工藤美和 工藤弘之 進藤晃

## はじめに

当院、作業療法科では、「その人らしさの実現」に向けた介入ができるよう、生活行為向上マネジメント (Management Tool for Daily Life Performance: 以下、MTDLP) の一部である「生活行為申し送り表」を作業療法経過報告書として導入した。

導入後、報告書に「その人らしさ」が表現できているかを調査するため、アンケートを実施した。

経緯、結果、及び考察を報告する。

## MTDLP(生活行為向上マネジメント)

- 活動と参加に焦点を当て、作業療法の臨床思考過程を可視化した生活行為支援ツール。
- 日本作業療法士協会が国民や関連職種にわかりやすく作業療法の形を示すために開発。
- 平成27年に通所リハビリテーションでは生活行為向上リハビリテーション実施加算が新設。

## MTDLPのプロセス

- インテーク
- ↓
- アセスメント
- ↓
- プラン・介入
- ↓
- モニタリング
- ↓
- 申し送り

生活行為聞き取りシート				
生活行為アセスメント				
生活行為向上プラン				
生活行為向上プラン の 実 施 内 容	実施・支援内容	基本的プログラム	応用的プログラム	社会適応的プログラム
	達成のためのプログラム			
	本人			
	家族や支援者			
実施・支援期間		年 月 日 ~ 年 月 日		
達成		<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 変更達成 <input type="checkbox"/> 未達成(理由: ) <input type="checkbox"/> 中止		



## アンケートの実施

### 対象

回復期リハビリテーション病棟担当作業療法士 11名

### 目的

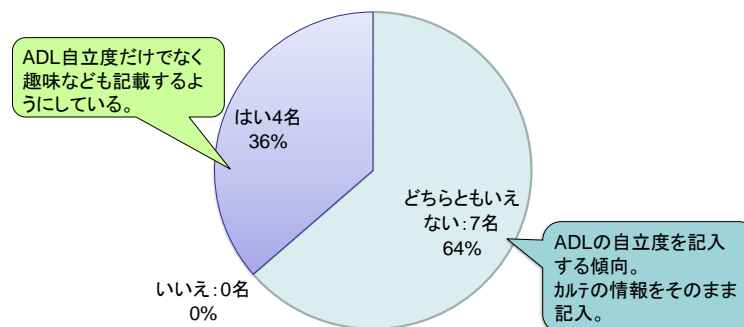
導入したことにより「その人らしさ」が表現できているかについて調査

### 内容

1. 【元気な時の生活状態】の項目について「その人らしさ」を表現した内容になっているか
2. 【ご本人の困っている、できるようになりたいこと】の項目について、「その人らしさ」を表現した内容になっているか
3. 「生活行為申し送り表」に変更したことで提供する作業療法に変化があったか

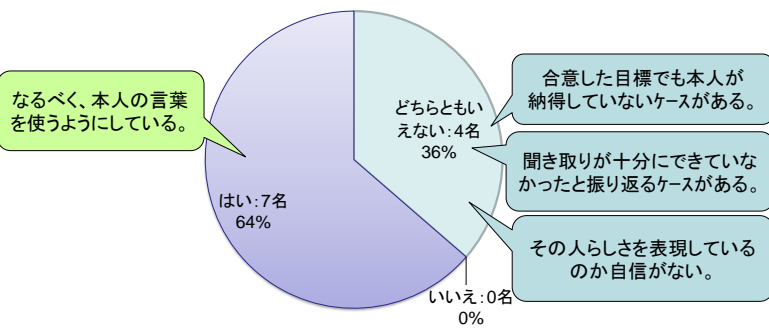
## 結果①

【元気な時の生活状態】についてその人らしさを表現した内容になっているか



## 結果②

【本人の困っている、できるようになりたいこと】の項目について  
その人らしさを表現した内容になっているか



## 結果③

生活行為...があったか

「その人らしさ」の表現が出来ていない

どんな感じる

## 考察①

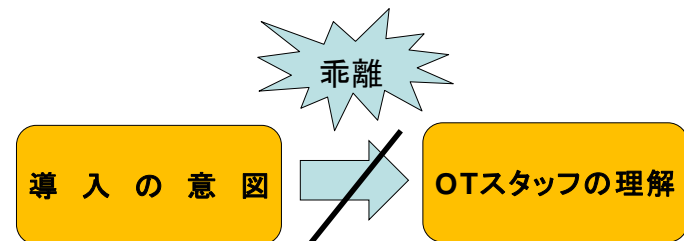
- 香山<sup>1)</sup>はその人らしさとは「自分らしくありたい」という願いであると述べている。小林<sup>2)</sup>は「全ての人が心の中にやりたい生活行為を明確にもっているわけではない」と述べている。
- 「その人らしさ」は個別性が高く、必ずしも言葉にできるとは限らない。さらに回復期リハビリテーション病棟は、当たり前の生活、当たり前の身体が一変することで、自分らしさの表出が難しくなる時期であるとする。



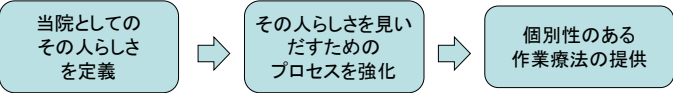
「その人らしさ」を見いだすことの難しさ

## 考察②

- 生活行為申し送り表の導入にあたり、こちら（導入者）の目的や意図を含むOTスタッフへの伝達内容が、OTスタッフが理解している部分と乖離があったとも考えられる。



## 今後の取り組み

- 

当院としての  
その人らしさを  
定義

⇒

その人らしさを見  
だすための  
プロセスを強化

⇒

個別性のある  
作業療法の提供
- 導入目的に関してOTスタッフへ再度伝達。
- 科内勉強会にて事例検討会を実施、患者様の「その人らしい生活」について深めていく。
- MTDLPの全てのシートの活用し、リハビリテーション総合実施計画書と連動させ、関連職種や家族とも連携して取り組む。

## ご清聴ありがとうございました

### 引用・参考文献

- 1) 香山明美 (2016). 対象者の主体性を引き出し、その人らしい生活を支える作業療法の実践 作業療ジャーナル 50-9, 991-995
- 2) 小林隆司 (2016). 生活行為とは 作業療法ジャーナル 50-7, 737-741
- 3) 一般社団法人日本作業療法士協会(2016). 事例で学ぶ生活行為向上マネジメント